

証券コード：5957

第116期

# KIZUNA通信

2021年1月1日 ▶ 2021年12月31日

**NITTOSEIKO**

**日東精工株式会社**



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第116期（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナワクチンの普及による経済活動正常化の進展や世界経済の回復による輸出の増加などにより、製造業を中心に好調に推移しておりましたが、後半は、部品不足による自動車生産の落ち込みや、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けた海外の景気減速の影響を受け不安定な状況となりました。世界経済においても、感染力の強い変異型新型コロナウイルスの影響、インフレ懸念、中国における不動産市場の停滞など、先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、2021年度経営方針「高い目標の達成を、高い志で目指す企業集団になろう」のもと、過去最高業績の達成を目標に掲げ、新たな事業を含む事業領域の拡充に取り組むと同時に、環境社会の実現に向けた環境対応製品の創出と拡大、社会の変化に対応するためのダイバーシティ経営などに積極的に取り組み、企業価値の向上に努めました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、過去最高の405億1千8百万円（前期比23.1%増）という結果を残すことができました。一方、利益については、過去最高数値には届きませんでしたが、営業利益32億4千9百万円（前期比149.3%増）、経常利益34億8千7百万円（前期比145.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益22億円（前期比187.7%増）と大きく伸長することができました。

2022年度は、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」の最終年度となります。グループの総合力と強い志をもって最終年度目標の達成を目指してまいります。また、すべての企業活動に対して持続可能な環境や社会の実現を前提に考えるサステナビリティ経営を強力に推進し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも借旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

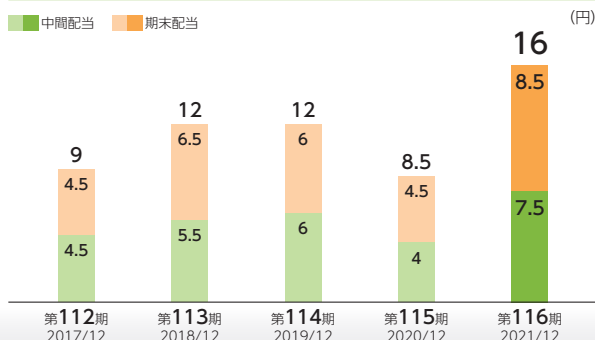
代表取締役社長 材木正己

## 株主のみなさまへの利益還元について

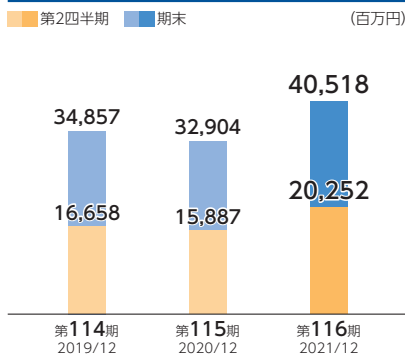
当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

第116期の配当金につきましては、中間配当7円50銭、期末配当8円50銭の年間16円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、1株当たり年間16円を予定しております。

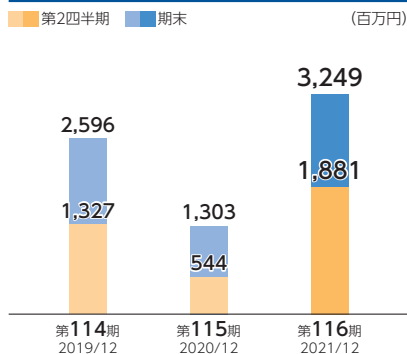
### 1株当たりの配当金の推移



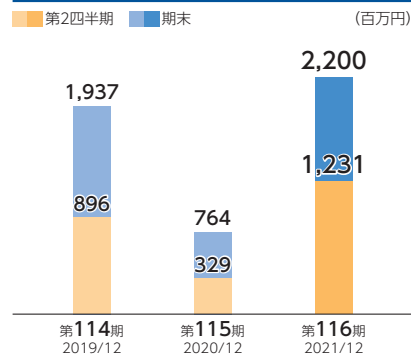
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



## セグメント概況

### ファスナー事業

#### 精密ねじ

コロナ禍における自粛生活やテレワークを背景にゲーム機・パソコン向けの需要が好調

#### 一般ねじ

電子制御の進化に伴う車載用ECU向けの需要が好調

#### 売上高

↑ **27,896** 百万円  
前期比 19.4% UP

68.8%

### 産機事業

#### 標準機

自動車のCASEに関わる設備、省人化を目的とした住宅関連設備の需要が好調

#### 自動組立ライン

住宅関連設備や照明器具製造設備を中心に需要が増加

#### 売上高

↑ **7,182** 百万円  
前期比 31.7% UP

17.7%

#### 売上高

↑ **5,416** 百万円  
前期比 35.0% UP

13.4%

### 制御事業

#### 流量計

コロナ禍、消毒液や巣ごもり食品の需要増加を背景に、医薬品業界や食品業界で堅調

#### システム製品

省人化設備の需要が増加  
地盤調査機「ジオカルテ」  
「ジオカルテⅣ」への買い替え需要が増加

0.1%

#### 売上高

↓ **23** 百万円  
前期比 67.5% DOWN

### メディカル事業

長期化するコロナ禍、医療機関への訪問自粛など、事業環境は引き続き厳しい状況

当社グループは、10年後のあるべき姿として、長期経営ビジョン「世界中  
中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」は、グループが一丸と  
事業を通じてMissionを遂行する、そんな活動の一部をご紹介します。

## ファスナー事業

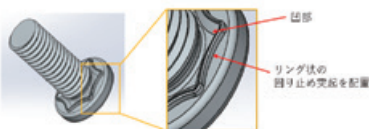
### Mission 1

## モノづくり力を高める 製品開発力、製造力の徹底追求

自動車業界のみならず多くの業界での採用が期待される  
「新型クリンチングスタッドボルト」を開発しました。

ファスナー事業部が、反りやバリの発生を軽減しつつ、従来品以上の回り止め強度（空転トルク）を得る「新型クリンチングスタッドボルト」を開発しました。本製品は、従来品と同様に締結部に圧入するだけでこれまで以上の製品品質を実現しました。自動車関連業界の他、家電・OA機器など、多くの業界でのモノづくりをサポートしてまいります。

- 特長 1  
→ 回り止め強度の向上
- 特長 2  
→ バリ発生を軽減
- 特長 3  
→ 反りの軽減



連結子会社のPT.NITTO ALAM INDONESIAが一貫生産を開始。高品質、短納期など、幅広いニーズに対応します。

インドネシアの連結子会社PT.NITTO ALAM INDONESIAが、プカシ工場において、ヘッダー、ローリング、熱処理、めっき処理、検査、梱包など、全ての工程を自社内で行える「一貫生産体制」を構築し、従来比生産能力月産35%向上を実現しました。自動車産業など、日系製造業が集積するジャカルタ郊外プカシ県において、迅速かつ高品質な製品を供給してまいります。



## 産機事業

### Mission 2

## グローバルな事業領域の 開拓と拡充

協働ロボットの急速な市場拡大に対応するユニバーサルロボット用ねじ締めユニット「PD400UR」シリーズを販売開始しました。

当社の「PD400UR」シリーズが、ねじ締めユニットとしては日本初となるユニバーサルロボット社の「UR+」製品認証を取得しました。この度の認証は、世界20ヶ国の拠点でグローバル展開する協働ロボットのトップメーカーである同社が製造販売するURロボットとプラグ&プレイで使える周辺機器のプラットフォームとしてラインナップされたもので、当社製品が評価された証とも言えます。コロナ禍、アフターコロナを見据えたモノづくりの現場では、ソーシャルディスタンスの確保や非接触化の必要性が求められ、協働ロボットの需要が増加傾向にあり、国内外の協働ロボット市場に向け販路拡大を目指します。

#### 【製品特長】

- ① ロボット動作に負担をかけない小型軽量ねじ締めユニット
- ② 様々な条件下にも対応する高精度「NXドライバT3シリーズ/SD600Tコントローラ」を搭載
- ③ 導入時のセットアップが簡単なURCap「NS SD600T」による簡単セットアップ・ねじ締め設定



で認められ、求められる『モノづくりソリューション』グループ」を掲げています。  
なり、長期経営ビジョンを具現化するための施策(=Mission)です。

## 制御事業

### Mission 3

## グループの有機的結合による シナジーの追求

小物部品専用検査選別装置「ミストル(MISTOL®) ロボタイプ」を開発。新たなラインナップとして販売開始しました。

本製品では、振動を利用して製品の整列・供給を行うパーツフィードを使用すると傷つきやすいデリケートな部品に対してパーツフィードを使用せず、バラ積み状態の部品をロボットが自動でピックアップして検査することで自動検査を可能にしました。今後も、締結・組立・計測検査事業を行うグループ全体の強みを活かし、お客様の問題解決に取り組んでまいります。



日東精工アナリテック株式会社が「JASIS2021」に出展しました。

幕張メッセ国際展示場で開催された分析・計測に関するアジア最大級の展示会「JASIS2021」に、連結子会社である日東精工アナリテック株式会社が元素計、水分計をはじめとする多彩な分析・計測機器を出展しました。当社からも関連商品を出展し、合同提案による需要の拡大を図りました。



TS-8000標準

## メディカル事業

### Mission 4

## 新たな事業領域の開拓

世界初特許出願技術「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の共同開発に成功しました。

当社と京都府立医科大学・富山大学などのグループが、京都府の支援を受けて共同開発を行いました。本素材は、骨折手術などで骨の固定に使ったあと、役目を終えると身体の中で溶けてしまう医療用インプラント製品(髄内釘やねじ)に適しており、今後インプラント製品として医療機器の承認を目指します。



精錬後のマグネシウム材料

## サステナビリティ経営

### Mission 5

## ダイバーシティの推進

- 京都府の「障害者雇用優良事業所等知事表彰」において、当社従業員が「優良勤労者」を受賞しました。
- “京都子育て環境日本一サミット”の「令和3年度あったか子育てきょうと表彰」において、「子育てにやさしい企業部門」で受賞しました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2020年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2021年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	27,704	32,646
固定資産	18,517	18,277
有形固定資産	12,933	13,092
無形固定資産	1,421	1,281
投資その他の資産	4,162	3,904
<b>資産合計</b>	<b>46,222</b>	<b>50,924</b>

POINT

1

現金及び預金や電子記録債権の増加などにより47億1百万円増加しました。

科目	前連結会計年度末 (2020年12月31日現在)	当連結会計年度末 (2021年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,618	13,675
固定負債	4,745	4,546
負債合計	16,364	18,221
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,445	29,261
その他の包括利益累計額	△ 577	△ 10
非支配株主持分	2,989	3,450
<b>純資産合計</b>	<b>29,858</b>	<b>32,702</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>46,222</b>	<b>50,924</b>

POINT

2

親会社株主に帰属する当期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加などにより28億4千4百万円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	当連結会計年度 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)
売上高	32,904	40,518
売上原価	25,263	30,233
売上総利益	7,640	10,285
販売費及び一般管理費	6,337	7,035
<b>営業利益</b>	<b>1,303</b>	<b>3,249</b>
営業外収益	381	379
営業外費用	266	140
<b>経常利益</b>	<b>1,418</b>	<b>3,487</b>
特別利益	47	127
特別損失	105	8
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,359</b>	<b>3,606</b>
法人税等	457	1,112
<b>当期純利益</b>	<b>902</b>	<b>2,494</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	137	293
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>764</b>	<b>2,200</b>

POINT  
3

税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費や仕入債務の増加などの収入項目が、売上債権やたな卸資産の増加などの支出項目を上回り、36億5千万円の収入となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	当連結会計年度 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>3,368</b>	<b>3,650</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,164	△ 993
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 871	△ 704
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 45	184
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 712	2,136
現金及び現金同等物の 期首残高	9,012	8,299
現金及び現金同等物の 期末残高	8,299	10,435

POINT

3

営業活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フロー

現金及び現金同等物に係る換算差額

現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)

現金及び現金同等物の期首残高

現金及び現金同等物の期末残高

# 事業別の取り組み

2022年は、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」の最終年度です。  
グループ一丸となり、最終年度目標の達成を目指してまいります。

## ファスナー事業

自動車メーカーの増産計画に合わせ、EV車向け電池やECU向けの締結部品など、組立作業コストや環境負荷を低減可能なオリジナルタッピンねじや「新型クリンチングスタッドボルト」の受注拡大を目指します。エネルギー関連は、将来的にアルミ部品のニーズが高まることを見込み「AKROSE」製品の展開を強化します。また、4月に子会社化するケーエム精工株式会社ともシナジー効果を発揮しお客さまの課題解決にさらに幅広く応えていきます。



## 産機事業

新しい働き方、人手不足を背景とするロボット需要の拡大を見据え、UR+認証ねじ締めツールを協働ロボット利用におけるねじ締め作業の標準ツールとして世界市場での拡販を目指します。自動車業界においては、メーカーの増産計画に合わせて新車種生産設備や新エネルギー車向け設備投資への提案を行います。また、IoT化、トレーサビリティ管理を可能にする通信機能付きNXドライバの拡販を進めます。



## 制御事業

流量計においては、再生エネルギー関連設備やガス燃料への切り替えによる需要増加を見据え、製品開発、拡販を進めます。マイクロバブル生成技術は新分野への参入を目指し引き続き他社と共同開発を行っています。また、人手不足を背景とするロボット需要に 대응するため、「ミストル (MISTOL®) ロボタイプ」の拡販を進めます。分析機器においては環境保護に貢献する微量窒素・硫黄・塩素分析装置「NSX-5000Vシリーズ」を海外でも販売開始します。



## メディカル事業

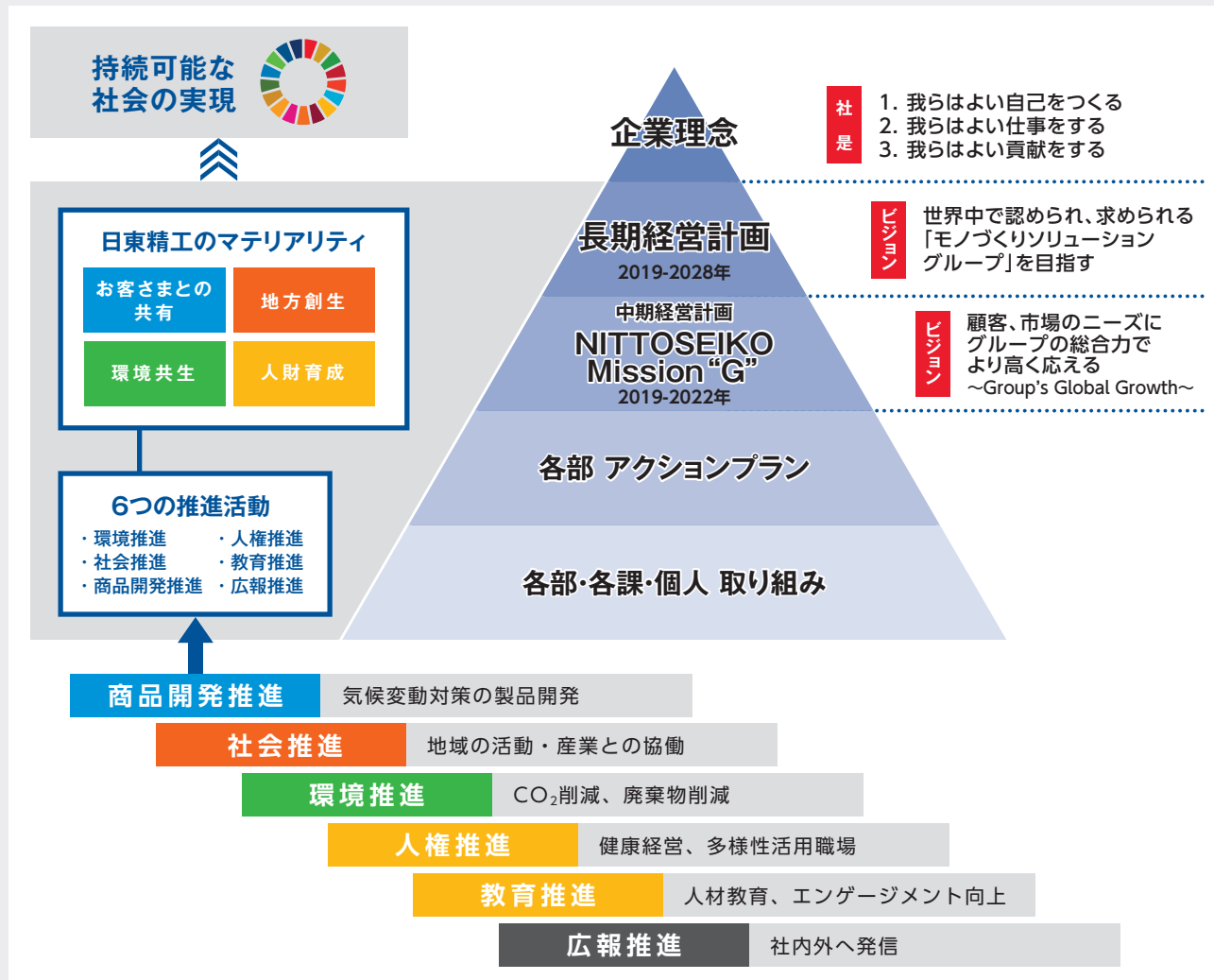
引き続き「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の早期の製品化を目指します。2022年2月に発表した、農・医薬品、医療機器の開発支援などを手掛ける株式会社トランスジェニックとの業務提携により、医療分野情報の共有、両社の人的交流、同グループの創薬支援プラットフォームとの連携などを通じ、両社の強みを活かした新たな価値の創造に努めます。



下線は、2022年2月14日に開示しております。

# 持続可能な社会を目指して

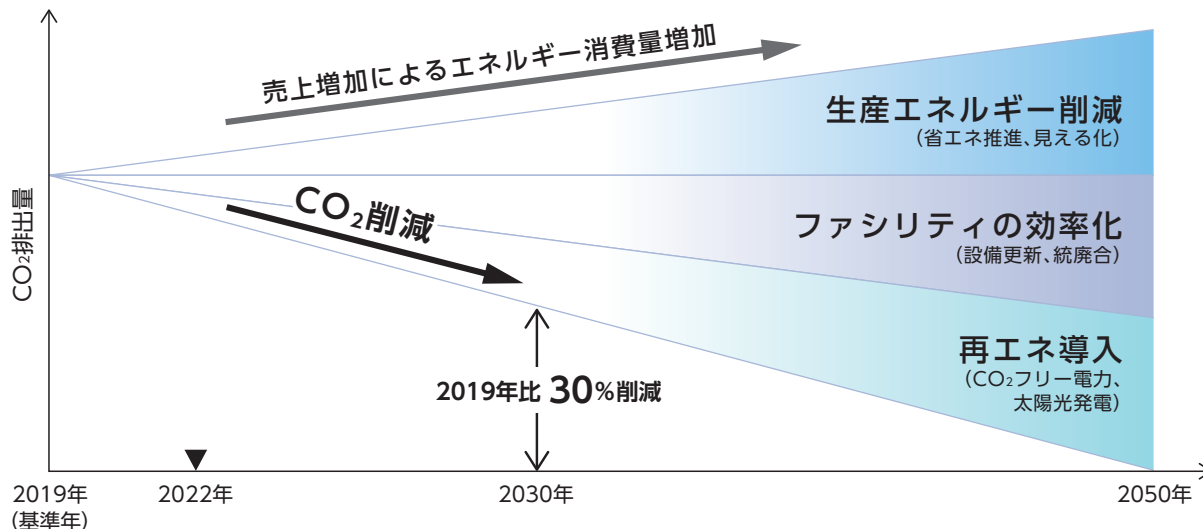
日東精工の創業以来の理念が、今サステナビリティという言葉で表現されていると私たちは考えています。商品開発、社会、環境、人権、教育、広報の6つの推進活動に分類し、当社の4つのマテリアリティに連動させることで、モノづくりソリューションによる当社だからこそできる持続可能な社会の実現を目指していきます。



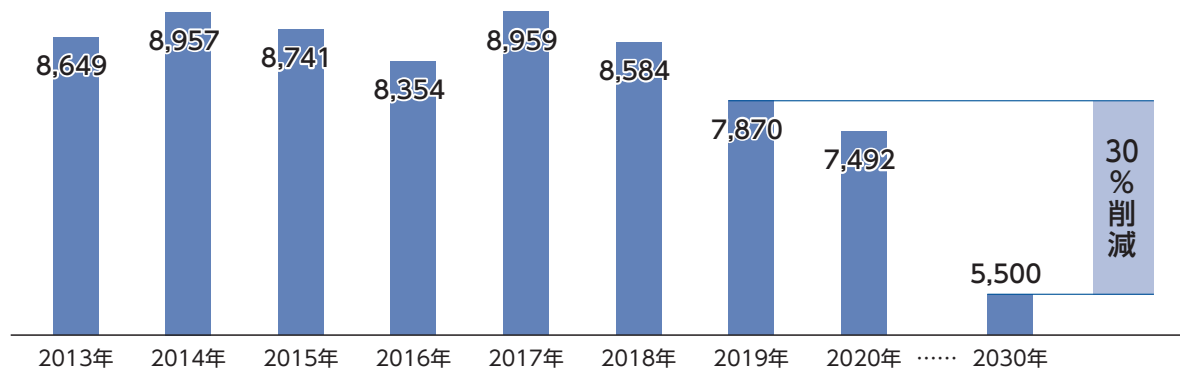


# CO<sub>2</sub>削減についての取り組み

2℃未満のシナリオを目指すため、2050年のカーボンニュートラルを見据え、2030年に2019年比CO<sub>2</sub>排出量30%削減を達成するための取り組みを進めていきます。



CO<sub>2</sub>排出量目標 (t) - スコープ1+2



具体的な取り組み成果に関しては今後統合レポートにて報告する予定です。

## カメラ事業への挑戦

終戦後の苦境期、会社再建に向けた待望の自社製品として、量水器の製造に乗り出しました。そして自社製品としてもう一つ、「カメラ」の開発にも取り組みました。

1949（昭和24）年にはカメラの試作第1号機が完成し、「ルック」と命名。レンズ以外は全て社内加工し組み立てたもので、距離計連動型の45ミリ、レンズシャッター付きという高級機でした。翌年には廉価版である「エレガ」も発売しました。しかし、組み立て調整技術が未熟のため、手造りで1個ずつ仕上げると何とか写真機になりますが、量産しようとするとピントが合わない、全く映らないといった欠陥品が多く出ました。

同時期に手掛けた写真機用発光器の生産は軌道に乗っていましたが、写真機は仕掛品が増えて資金繰りにも深刻な影響が始めました。交際費の支払いを手形にして先方から嫌な顔をされたり、従業員が町で買い物をするときはツケを断られたり、本当に肩身の狭い思いをした時代でした。

そこで、当社単独でのカメラ製造を取りやめ、下請け加工事業に重点を移すことでこの難局を乗り越えます。1953（昭和28年）年には千代田光学精工様（現コニカミノルタ様）と、「セミ・ミノルタ」写真機製造の基本契約を結び、本格的な製造を開始。自社ブランド「エレガ」は製造を打ち切りました。

その一方、自社製品の発光器は出荷が急増、輸出品としても名声を高めるとともに、量水器も京阪神地区から山陰各都市へと地盤を固めていきました。

このように、当社の歴史の中でもごくわずかの期間に独自ブランドでの2機種のカメラを製造販売しました。期間もさることながら市場に出回った台数もわずかであったため、現在はカメラ愛好家の中で「幻のカメラ」と呼ばれており、その存在の真偽、製造元の特定、性能・機能の探求などが話題となっています。

当社で培われている新規事業への挑戦心は、この頃から脈々と続いており、これからも世の中に新しい価値を提供するために努力を続けてまいります。

カメラ



自社製写真機「ルック」



自社製写真機「エレガ」

発光器



ペン型発光器



筒型発光器

(2021年12月31日現在)

### 会社概要

社名	日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)
本社所在地	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設立年月日	1938年2月25日
資本金	3,522,580,100円
従業員数	536名
主な事業内容	各種工業用ファスナーの製造販売 各種自動組立機の製造販売 各種流量計および検査装置の製造販売 各種医療機器の製造販売

### 国内の事業所

本社	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20	電話 (0773) 42-3111
東京支店	神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21	電話 (045) 545-3313
大阪支店	大阪府東大阪市本庄西1-6-4	電話 (06) 6745-8357
名古屋支店	愛知県名古屋市長区上社5-405	電話 (052) 709-5061
北関東営業所	群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3	電話 (0276) 63-8158
広島営業所	広島県広島市東区光町1-12-20 2階	電話 (082) 207-0622
九州出張所	福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46	電話 (092) 411-1724

### 取締役、監査役および執行役員

(2022年3月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	材木正己	監査役(常勤)	北谷明
代表取締役 専務執行役員	荒賀誠	監査役(社外)	溝口克彦
取締役 執行役員	上嶋伸宏	監査役(社外)	多賀野博一
取締役 執行役員	山添重博	執行役員	石原雅和
取締役 執行役員	松本真一	執行役員	小雲康弘
取締役 執行役員	浅井基樹	執行役員	桐村和也
取締役(社外)	塩見満		
取締役(社外)	平尾一之		
取締役(社外)	勝見九重		

(2021年12月31日現在)

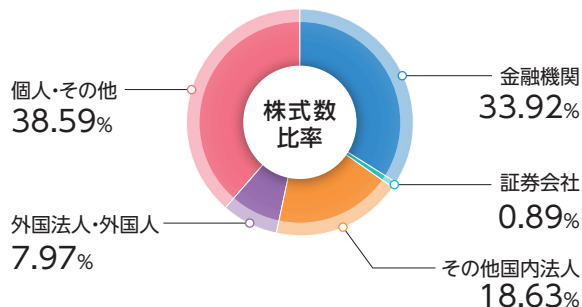
### 株式の状況

発行可能株式総数	98,800,000株
発行済株式の総数	39,985,017株
株主数	5,542名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,736(千株)	10.04(%)
日東精工協友会	3,214	8.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,147	5.77
株式会社京都銀行	1,855	4.99
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,350	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
グンゼ株式会社	1,084	2.91
日東精工従業員持株会	798	2.14
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。  
2. 自己株式2,802千株を除いて計算しております。

### 所有者別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年6月30日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各  
支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子  
公告による公告をすることができない場合は、日本  
経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

## 住所変更、单元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時  
開示しております。製品情報、新着情報等の  
ほか、IR情報ページでは、決算短信等を掲載  
しております。  
また、CSRページでは統合レポートも掲載  
しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>

